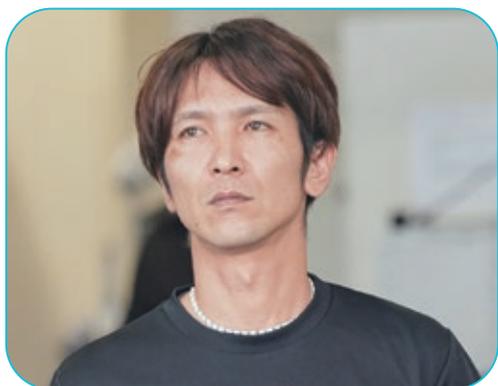


好調選手 どう狙う!

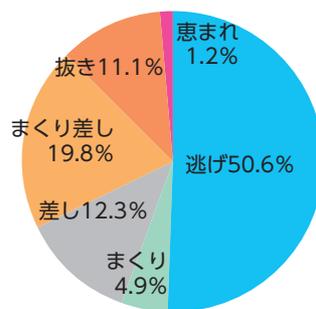


最近好調な選手の近況戦績から狙い方を考える



4324 海野康志郎(山口)

決まり手一覧



一般戦

来年1月から適用される新期勝率は本年5月〜10月末までの成績が対象となっているが、本稿締切時点(※10月30日現在)で白井英治も寺田祥も押さえて山口支部ナンバー1となっているのが海野康志郎だ。海野は新期、自己最高に並ぶような勝率を残している。これまでは16年後期の7・52が自己最高勝率だった。しかしその後

新期は自己最高に迫る!
山口支部イチ乗れる!?

表1 艇番別成績(23.10.1~24.9.30)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	69.8%	88.9%	93.7%	68.2%
2号艇	20.0%	55.0%	77.5%	61.6%
3号艇	28.6%	64.3%	81.0%	120.0%
4号艇	14.6%	31.7%	58.5%	37.0%
5号艇	10.8%	15.1%	59.5%	33.2%
6号艇	16.7%	31.0%	57.1%	106.6%

出場予定

11/9~11/14	丸亀	京極賞 開設72周年記念競走
11/19~11/24	常滑	INAX杯争奪第36回とこなめ大賞
12/3~12/8	鳴門	大渦大賞開設71周年記念競走

最高勝率だった。しかしその後

4、5号艇時は回収率が低いので1着よりも2着、3着で勝負するのが吉だ。

表1の艇番別回収率から、海野を狙いたいのにはまず3号艇時。1着回収率120%はかなりオイシイ。対象期間中3号艇では42回走って1着12回、2着15回、3着7回。2着も多いので1〜3など本命サイドから海野へ流す目も押さえておきたい。

そして6号艇時。1着率は16・7% (約6回に1回) と極端に高いわけではないが、回収率は100%を超えている。6号艇の時には進入で動くことも多いので、高配当を演出することもある。2着や3着も多いので海野を軸にボックスで勝負が良さそう。

成績が上向いた要因としては、1着率が前期の29・8%から新期は34・2% (※以下、新期の数字はいずれも10月30日まで) へと大きく上がったこと、そして6着が大幅に減ったことが挙げられる。新期の6着回数はわずかに4回。重量級の海野にとつて6着はどうしても多くなりがちだが、6着4回というのはこれまで一番少ない。豪快にのるかそのかのレースをするイメージはあるが、新期は確実性が上がっているようだ。

は6点台に終わることが多かったが、久しぶりに7点中盤の勝率を残すことになった。

5163 清水愛海(山口)

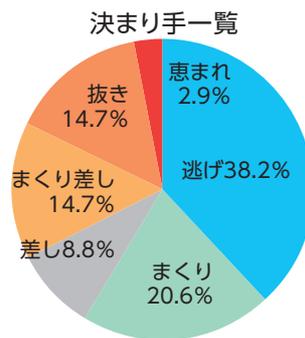


表2 艇番別成績(23.10.1~24.9.30)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	53.6%	78.6%	92.9%	92.5%
2号艇	19.4%	51.6%	64.5%	110.1%
3号艇	21.4%	42.9%	71.4%	108.3%
4号艇	8.8%	35.3%	67.6%	27.6%
5号艇	9.7%	29.0%	51.6%	78.8%
6号艇	3.3%	16.7%	36.7%	17.6%

出場予定

11/13~11/18	多摩川	ヴィーナスシリーズ第17戦是政プリンセスカップ
11/25~11/30	大村	ミッドナイトボートレースin大村5 オール進入固定
12/8~12/13	下関	オールレディース ジュエルセブンカップ



女子戦

養成所チャンプ、養成所リーグ戦勝率ナンバー1のWタイトルをひきあげ、デビューから期待されてきた清水愛海がいよいよ本格化してきた。

この2期はB1級にとどまっていたが、新期は勝率が大幅にアップし6点半ばの勝率を残している。自身初の6点台、着実に実力が底上げされてきた。

1マークで決めきれなくても、粘り強い走りを見せるタイプで、決まり手一覧の「抜き」が14・7%という数字がそれをよく表している。

イン勝率は53・6%と信頼感を得るまでには至っていないが、それでいて回収率が90%を超えているので、今後、勝率が上がる期待込みで買える。

回収率では2、3号艇時の数字が高い。ただし、1着率は両方共に5回に1回程度なので、もう少し広げて買った方が良さそう。2号艇時は3着があまり多くはないので1着2着固定で、3号艇時は1着から3着までまんべんなく取っているのでボックスで狙うことを推奨する。

4〜6号艇のダッシュ戦では1着率が10%を切っており、狙って取るのは難しそう。2着3着が多いので、本命サイドから流して買いたい。

デビュー時から注目の逸材がいよいよ本格化

5106 山崎祥(山口)

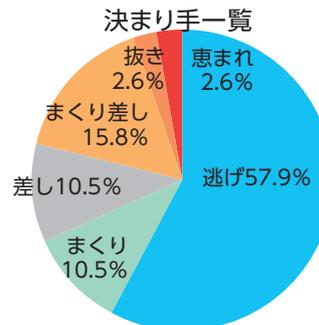


表3 艇番別成績(23.10.1~24.9.30)

	1着率	2連対率	3連対率	回収率
1号艇	59.0%	76.9%	82.1%	64.0%
2号艇	7.5%	30.0%	60.0%	15.8%
3号艇	15.4%	48.7%	71.8%	57.9%
4号艇	8.6%	17.1%	45.7%	54.6%
5号艇	6.9%	20.7%	55.2%	97.7%
6号艇	2.6%	5.3%	18.4%	76.6%

出場予定

11/18~11/22	江戸川	ういちの江戸川ナイスう〜っ! カップ
11/29~12/4	徳山	日本モーターボート選手会会長賞



ルーキー

厳密にはルーキー世代ではないが、OB枠でルーキー戦に出場することも多い山崎祥について触れていく。

定松勇樹や砂長知輝らと同じ125期の山崎。前期は自身初A2級への昇格を果たしたが、新期はやや成績を落としB1級へと降格となってしまった。

成績を細かに見ると、1着率と2連対率は前期より上がっていたのだが、3連対率が61・0%から49・5%へと大きく下がってしまった。つまり3着を減らしたのが、新期に勝率を落とした要因だ。

前期は全着順の中で3着が最も、しかも突出して多かったのだが、新期は1着や2着の方が多くなった。これが一時的な傾向なのか判断するには難しいところだが、一時的なものとしてとらえるなら3着狙いで買うのが正解か。特に3着が多くなるのは4号艇と5号艇時。

2号艇と3号艇時は2着も多いので2着3着狙いも有効だ。

1号艇時のイン逃げ率は過去1年では59%だが、ここ3か月くらいは逃げ確率が上昇してきている。今の回収率だと、購入意欲は湧かないが、成長分を先取りするなら、インから勝負しても回収率は上がりそうだ。

3着は減っているが今後の巻き返しに期待